

事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	市民部 危機管理室 生活安全課 生活安全係 中越 竜也	評価責任者 (担当課長)	生活安全課長 河居秀旗
----------	-----------------------------	-----------------	-------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	交通安全施設等整備事業(カーブミラー・外側線・防護柵等整備事業)		② 整理番号	04020101-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	安心・安全の美しいまちづくり		
	節	安全な市民生活の実現		
	項	交通安全対策の推進		
	号	交通安全施設の整備		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	安心と安全のまちづくり条例			

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	交通事故防止に配慮した環境の整備を図るため
② 対象 (誰・何を対象として)	市民(通園、通学児童等を含む歩行者、車両運転者等)
③ 手段 (どのようなやり方で)	市内小学校8校区の通学路安全点検、自治会等からの要望、警察署等からの通報、又は本市交通指導員のパトロール活動等により認知した危険箇所の安全対策及び交通安全施設の整備を行う
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	交通事故の防止と減少

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	12,990	10,900	12,280	30,236	(予算) 19,080
② 概算人件費	(1.79) 10,747	(1.70) 9,887	(1.70) 9,799	(1.46) 8,803	
(関与比率)一般職員	(1.29) 9,469	(1.20) 8,599	(1.20) 8,521	(1.13) 7,952	
(関与比率)嘱託職員	(0.50) 1,278	(0.50) 1,288	(0.50) 1,278	(0.33) 851	
(関与比率)臨時職員					
③ 合計(①+②)	23,737	20,787	22,079	39,039	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)				3,566	(当初予算)
⑤ 一般財源(③-④)	23,737	20,787	22,079	35,473	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	カーブミラー施行(新規・補修)件数	年間施行件数/(要望件数)	55/59 件	52/56 件	67/73 件	51/56 件
	② 防護柵等新設件数	年間設置件数/(要望件数)	2/2 件	1/1 件	0/1 件	0/4 件
	③ 外側線施行件数	年間施行件数/(要望件数)	44/44 件	48/48 件	12/21 件	40/48 件
成果指標	① 施行件数/要望件数		93 %	93 %	92 %	91% %
	② 新設件数/要望件数		100 %	100 %	0 %	0 %
	③ 施行件数/要望件数		100 %	100 %	57 %	83 %
効率指標	① カーブミラー1箇所当たりのコスト	カーブミラー施行費/年間施行件数	103,774 円	119,377 円	106,705 円	118,362 円
	② 防護柵1m当たりのコスト	防護柵新設費/m	13,554 円	24,993 円	0 円	0 円
	③ 外側線1m当たりのコスト	外側線施工費/m	199 円	170 円	465 円	648 円

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	道路交通安全施設の整備および管理は、施設管理者である市が行わなければならない。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	危険箇所の整備するものであり、即効性、有効性が非常に高い。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	カーブミラー補修及びカラー舗装・路面表示を含む区画線設置・補修工事は入札による単価契約を採用し、迅速性・コスト面を考慮している。また、社会資本整備総合交付金、交通安全対策特別交付金を活用し、市の財政負担を抑えながら最大の効果を発現できるよう努めている。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
A	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)